

令和6年度「東北地域 中心市街地及び商店街関連セミナー」

「妄想」と「実走」から考える 次世代のまちづくりセミナー

〔日程〕

2024年

9月12日(木)&13日(金)

〔会場〕

岩手県盛岡市「プラザおでって」

(盛岡市中ノ橋通1-1-10)

〔定員〕

40名(現地参加)

〔対象〕

- ・行政、商工団体、まちづくり会社、商店街関係者、教育機関等のまちづくりに関心がある方
- ・年代・経歴・部門は問いません！

〔申込み〕

2024年8月30日(金)17時〆

下部のQRコードからお早めにお申込みください。

〔プログラム〕

★DAY1：インプット

13：00～ 受付

13：30～

【第1部】事例紹介

『異彩を、放て。』

(株)ヘラルボニー 代表取締役 松田 文登 氏

『まちに灯台を作る』

平三町目商店会 副会長 北林 由布子 氏

『マルヒコビルディングを拠点にしたエリアリノペー

ション』 (同)のしろ家守舎 代表社員 湊 哲一 氏

15：00～

【第2部】パネルディスカッション[妄想編]

『次世代のまちづくり』

★ファシリテーター

伊藤 大海 氏 [愛知県半田市 中心市街地活性化市長特任顧問]

☆パネリスト

三浦 悠 氏 [(株)街づくりまんぼう]

玉木 春香 氏 [(同)ホームシックデザイン]

齊藤 健吾 氏 [(株)斎藤商事] ほか [東北経済産業局]

16：30～

個別相談会

終了後～

名刺交換会(立食交流会)

★DAY2：アウトプット

8：30～ 受付

9：00～

【第3部】グループワーク[実走編]

★コーディネーター

柳沢 拓哉 氏 [(株)まちづくり八戸]

刈谷 智大 氏 [(株)街づくりまんぼう]

湊 哲一 氏 [(同)のしろ家守舎]

北林 由布子 氏 [平三町目商店会]

伊藤 大海 氏 [愛知県半田市 中心市街地活性化市長特任顧問]

10：30～

現地視察・休憩

13：00～

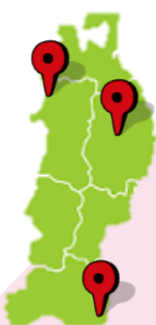
【第3部】グループワーク

14：00～

【第3部】グループワーク結果発表

15：00～

閉会&個別相談会



事例紹介

松田 文登 氏
(株)ヘラルボニー
代表取締役



北林 由布子 氏
平三町目商店会 副会長



湊 哲一 氏
(同)のしろ家守舎 代表社員



主催：東北経済産業局

共催：(独)中小企業基盤整備機構

お問合せ先

事務局：東北経済産業局 商業・流通サービス産業課

(宮城県仙台市青葉区本町3-3-1) ☎：bzl-shougyouchukatu-tohoku@meti.go.jp

お申込みはこちら▶



「妄想」と「実走」から考える 次世代のまちづくりセミナー

近年の中心市街地及び商店街等は、組織の活動低下や住民ニーズの多様化など、多くの課題に直面しています。まちづくり関係者の「人材スキルアップ」、情報交換による「ネットワーク形成」等、本セミナーの開催をきっかけに、東北地域全体でまちづくりを検討する体制構築を目的としております。

今回は「次世代」をキーワードに、行政・まちづくり関係者・学生を含めた潜在的にまちづくりに関心がある皆さんと、改めて「次世代」のまちづくりについて一緒に考える場を提供するとともに、まちづくりマインドの醸成につながればと考えております！

パネルディスカッション パネリスト

妄想編

合同会社ホームシックデザイン 玉木 春香 氏



盛岡市出身。「若者が活躍できる岩手・盛岡」をキーワードに、県のZ世代向けWEBメディア「みんなの想職活動」や、岩手大学の地域協創プログラムに携わる。2024年6月より（同）ホームシックデザインの業務執行社員・副代表に就任。

株式会社斎藤商事 齊藤 健吾 氏



盛岡市出身。先代の父に代わって、2016年に（株）斎藤商事の代表になる。2018年には日曜大工スペース「KITENE」を開設。肴町商店街振興組合青年部としての活動も精力的に行い、「肴町ベンチプロジェクト」や「みんなの遊び場プロジェクト」等を通して商店街の賑わい創出事業に携わる。

愛知県半田市中心市街地活性化市長特任顧問／中小企業診断士 伊藤 大海 氏

グループワークも担当します！

ファシリテーター



2002年にまちづくりコンサルタントとして独立。中心市街地活性化支援が主領域で、東京と愛知の二拠点で活動、半田市中心市街地活性化市長特任顧問としても民と公の視点から動機と仕組みに着眼した中活の立ち上げ、拠点づくり、人づくり、活動支援などを行う。

株式会社街づくりまんぼう 三浦 悠 氏



宮城県石巻市出身。（株）街づくりまんぼう 街づくり事業部プランナー。マンガ家・石ノ森章太郎のマンガミュージアム「石ノ森萬画館」のある石巻市で、地元学生を巻き込んだアートプロジェクトや商店主と共にコラボメニューを開発するなど、マンガを活かした街づくりを行う。また、創作活動拠点「いしのまきMANGA lab.ヒトコマ」の運営に携わる。

ほか東北経済産業局

グループワーク コーディネーターと概要

実走編

平三町目商店会 北林 由布子 氏【グループB】



★車社会の地方都市において「ウォーカブル」なまちづくりが生み出す新しい商店街の価値
日常通り過ぎるだけの歩道空間をパブリックスペースとして有効活用し、やりたいことが表現できる場、歴史、文化が体験できる場、子供たちの思い出が出来る居場所として。様々な境界線を曖昧にし、豊かな体験価値が生まれる商店街ってどんな場所か、一緒に考えてみませんか？

株式会社まちづくり八戸 柳沢 拓哉 氏【グループD】



★まちの「場」の魅力を測る「プレイス・ゲーム」体験

学生や地域住民、商店街・行政関係者など関係者が一緒に、まちの「場」としての魅力を評価する「プレイス・ゲーム」を会場近隣の商店街で体験いただきます。場の評価法や改善策の検討を通じて自分のまちでの実践に繋がります！

合同会社のしろ家守舎 湊 哲一 氏【グループA】



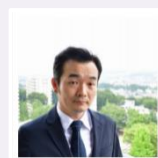
★若者と地域の未来：共に考えるまちづくり
大学のない街・能代市を例に、若者の地域離れが進む中、地域の未来を見据え、企業、市民、行政が一体となって共に考えるまちづくりの方法を、各地域の事例を共有しながら議論します！

株式会社街づくりまんぼう 荻谷 智大 氏【グループC】



★まだ見ぬ次世代のために
私たちがまちづくりですべきことを考える
「将来の子どものために」実際私たちができることってなんだろう？私たちが普段やっているまちづくりは、本当にこれからの世代にとって有意なものか？自分たちの日頃の実践を振り返りながら考えてみましょう！

愛知県半田市中心市街地活性化市長特任顧問／中小企業診断士 伊藤 大海 氏【グループE】



★持続的な地域経営に向けて、次世代と自分の役割を考える

人口ボリューム世代が高齢期となり、急速な人口減少時代を迎える中、持続的な地域の担い手として期待される「次世代」。当分科会ではグループ、個人ワークを行いながら「次世代」を定義・見据えた地域づくりの提言を検討していきます。